

## 第二次大戦下の価格統制

- ・主催：豊中まちづくり研究所 (<https://toyonaka-machizukuri.com>)
- ・日時：2020年10月21日（水）午後6時30分から
- ・会場：阪急豊中駅前 ホテルアイボリー
- ・会費：1,000円
- ・講師：石原武政氏（大阪市立大学名誉教授）

### ■ 講演概要 ■

戦争は物価を引上げる傾向がある。しかし、戦争を継続するためには物価上昇は極力抑制しなければならない。この矛盾にどう対処するのか。それは戦時経済の最大の課題である。輸入規制から代用品や消費節約など、さまざまな対策が講じられてもなお上昇する物価に対して、国家が強圧的に価格を公定する。それは想像を絶するほどの作業を伴うが、それでも価格を安定させることはできなかった。価格統制は闇取引を生み、生産力の減退を生み、品質の劣化を生み出す。当初は楽観的な見透しで始まった日中戦争から終戦までの8年間に及ぶ戦時価格統制の軌跡を概観します。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| I 戦争と物価問題        | II 初期の間接的統制とその限界 |
| III 直接的価格統制の始まり  | IV 市場価格の全面的停止    |
| V 経済的孤立化の中での物価政策 | V 結び             |

### ■ 講師プロフィール ■

神戸大学経営学研究科博士課程を経て大阪市立大学商学部助手、講師、助教授を経て1984年教授就任。2006年大阪市立大学名誉教授。その後、関西学院大学商学部教授、流通科学大学教授を歴任。商学博士。1980年代後半頃から地域商業問題への関心を強め、現場と理論の橋渡しを目指す傍ら、中小企業政策審議会委員等、各種の審議会・委員会等に参加。1997年から2009年まで、中小企業政策審議会商業部会長、2006年から2011年まで、経済産業研究所・通商産業政策史編集委員会委員を務める。

<主な著書> 『街づくりのマーケティング』 『まちづくりの中の小売業』 『商業組織の内部編成』 『商業・まちづくりネットワーク』 『小売業の外部性とまちづくり』 『まちづくりを学ぶ』 『シリーズ流通体系（全5巻）』 『通商産業政策史1980～2000第4巻 商務流通政策』 『商業・まちづくり口辞苑』 『小売業起点のまちづくり』  
(共著)

#### ■参加申し込み

豊中まちづくりフォーラムの参加は、以下のページか、右のQRコードからお申し込み下さい。

<https://toyonaka-machizukuri.com/forum/forum-application>

